

1. CAATツールで使う基本の機能と関数

- (1) CAATに欠かせない10個のExcel機能
- (2) 各社不正事件の概要とCAAT案
- (3) 主な異常点と基本の着眼点

2. 膨大なデータからあたりをつける! CAATによる「抽出・推計」

- (1) サンプリングでの「抽出」
- (2) 相関・回帰分析による「推計」

3. 異常点から考える勘定科目別“CAATシナリオ”の作成

- (1) 「売上高」とCAAT
 - ・販売単価の異常値の兆候発見
 - ・循環取引の兆候発見
 - ・時系列分析による「予測」
 - ・ほか
- (2) 「在庫」とCAAT
 - ・架空在庫の兆候発見
 - ・リベートの兆候発見
 - ・滞留在庫の兆候発見
 - ・ほか
- (3) 「キャッシュ」とCAAT
 - ・カイティングの兆候発見
 - ・スキミングの兆候発見
 - ・ラーセニーの兆候発見
 - ・ほか
- (4) 「経費」とCAAT
 - ・架空人件費の兆候発見
 - ・裏金の兆候発見
 - ・キックバックの兆候発見
 - ・ほか

まとめ・質疑応答

講師著書「CAATで粉飾・横領はこう見抜く Excelによる不正発見法」(中央経済社)を差し上げます。
また当日教材としても使用します。

<※受講上の留意点>

本セミナーは、不正会計の手口・発生メカニズムや基本的なCAATの理解がある受講者を対象にした中級講座です。本会開催セミナー「不正会計の実態、予防策と対応策」「不正会計対応のためのCAAT基礎実務」修了レベルの事前知識があるとより理解が深まります。なお、受講者自身によるPC操作はございません。

講師プロフィール

【講師略歴】

一般社団法人 働値創造機構 理事長 公認会計士、
経済産業省・中小企業庁認定経営革新等支援機関 村井 直志(むらい ただし) 氏

大手監査法人・コンサルファーム・税務事務所などを経て、一般社団法人 働値創造機構 理事長就任。
日本公認会計士協会東京会コンピュータ委員会委員長、経営委員会委員、税務第一委員会委員、業務委員会委員、
独立行政法人中小企業基盤整備機構IT推進アドバイザーなどを歴任。第34回日本公認会計士協会研究大会に研究論文「CAATで不正会計に対処する、EXCELを用いた異常点監査技法」選抜。

【主な著作】

- 「経営を強くする会計7つのルール」(ダイヤモンド社)
- 「会社四季報から始める企業分析 最強の会計力」(東洋経済新報社)
- 「強い会社の儲けの公式」(ダイヤモンド社)
- 「経理に配属されたら読む本」(日本実業出版社)
- 「会計ドレッシング 10episodes」(東洋経済新報社)
- 「決算書の50%は思い込みでできている」(東洋経済新報社)
- 「会計チャージ決算書の本質を4つの目線でつかむ」(中央経済社)